

発行 青森県金木町役場 編集 企画室

### 一一九番は 火事の時だけ

一一九番は、消防屯所の  
火災通報専用の電話番号で  
す。ところが、普通の用件  
でも、一一九番を利用され  
る方が多く、屯所では困っ  
ています。普通の用件の場  
合は、二三二三番を利用さ  
れるようお願いします。



## 減産に戸惑う農家

増産促進から一転して減産奨励という農政の急変に米作農家は戸惑い、将来に大きな不安をいだいている。金木町に示された減産目標数量は576トン(9,600俵)、面積にして114ヘクタール。町では、町の経済をささえる米の減産政策には不満だが、「背に腹はかえられぬ」ということで、目標達成

に乗り出した。

減産には10アールにつき、平均して4万円近くの奨励補助金が出るというものの、買入れ制限、さらには食糧管理制度そのものの存立が心配されているところから、説明会に集まった人たちの顔は真剣そのもの。不安とあきらめと、やり場のない憤りの交錯した複雑な表情である。

【写真=減反説明会嘉瀬会場】

## 休耕・転作の 注意事項

最近の米の需給事情から米の生産調整が国の政策として実施されることになり、調整(減反)に協力される農家に対しては、転作、休耕、土地改良事業の通年施行、いずれの方法についても一定の奨励金が支払われることは、すでにご承知のとおりです。

そこで、休耕、あるいは転作した場合の注意事項をあげてみましょう。

休耕した場合、そのまましておくと雑草のため大変なことになります。特に「ヒエ」が問題です。この雑草退治を耕うん機で行なう場合は六月いっぱいまでは二週間おきくらいに、雑草五センチの頃耕起します。五月二回、六月二回耕起一回、計五回くらい必要です。薬剤で行なう場合は、ATA、クロレトソーダ、ボミカルなどが効果的ですが、薬害が強いので、周囲の稲にじゅうぶん注意して下さい。

転作する場合、なかなかこれといったよい作物はない現状です。耐湿性を考えますと、イチゴ、サトイモ、ニンジン、キュウリ、ナス、タマネギ、エンドウなどが適していますが、せつかくつくつても売れないようではなんにもなりませんので、販売方法の工夫が必要となります。

また、緑肥作物として、イタリヤン、ライグラス、ライ麦などを栽培することも、土じょう改良に以上、いずれの場合でも、くわしいことは当所にご相談下さるようお願いいたします。

(金木地区農業改良普及所)

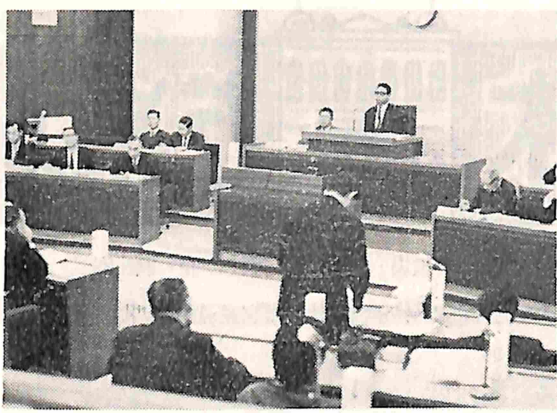
# 第54回定例町議会

## 減税条例などを可決

第五十四回金木町定例町議会は三月二十六日召集され、町税条例の改正、昭和四十五年度一般会計暫定(四・五月分)予算など十六議案を可決し、三月三十日閉会しました。

可決された主な議案はつぎのとおりです。

一、昭和四十四年度一般会計補正予算(歳入歳出を七百七十九万九千二百三十八万四千円とする。歳出の主なものは、防災行政無線の負担金四十六万円、金木、喜良市農



〔定例町議会〕

業共済組合合併助成五十万円、金木地区職業訓練所助成二十万円、十三湖土地改良区背後地助成二十万円。

一、昭和四十五年度金木町一般会計暫定予算(四月と五月の二カ月間の経常費並びに継続費、債務負担行為の年度初めに支出すべきものだけを計上。総額は一億八百八十七万六千円。)

一、金木町税条例の改正(個人町民税の税率を標準税率に引き下げるとともに、税法の改正に伴う譲渡所得について所要の改正を行うなう。)

一、金木町国民健康保険条例の改正(一歳未満の乳幼児の医療費を十割給付にし、助産費、葬祭費をこれまでの二千元から五千元に引き上げる。)

なお、一般質問は、沢田茂、伊藤清志、成田善蔵、吉崎正光、古川竹夫、田中豊蔵、棟方兼夫、の七議員が行なわれました。質疑応答の主なものはつぎのとおりです。

①職員(カッポ内は答弁)の応接態度が悪いなどのような指導をしているのか。(常に親切と奉仕の精神をもって接するよう指導しているが、さらに注意する。)

②嘉瀬公民館の建設は公約の一つだが、どうするのか。(四十五年度予算に計上し、建設する。)

③役場の機構を改革する必要があると思うが、どうか。(機構に適合でない面もあるので検討し、善処したい。)

④三上町長は三選されたが、批判票を謙虚に受けとめ、少数意見も尊重すべきである。(そのようにする。)

⑤藤枝部落の道路を早急に改良してほしい。(事情はよく分っているので、冬期間はブルドーザーで除雪し、掘削等の改良も進めたい。)

### 三上町長が三選

町議補選では工藤氏



【三上氏】 二月十四日 三上町長



【工藤氏】 三月三十一日現在

ました。また、同時に行なわれた町議会議員補欠選挙では工藤源三郎氏が当選しました。結果はつぎのとおりです。有権者数 九、五六八 投票者数 七、四九九 投票率 七八・三% 有効票 七、二五八

⑥給食センターをつくる考えはないか。(教育委員会などともよく相談して決めたい。)

⑦駐車場を設置したらどうか。(旧役場庁舎敷地を中心に設置する考えている。)

⑧住民サービス向上の面から役場職員の教育を強化する考えはないか。(県主催の研修ばかりでなく町独自の研修を行ないたい。)

⑨公民館活動を活発にするために専任の館長や職員をおく必要があると思うが、(専任の職員は必要だと思うが、館長は当面教育長の兼任となる。)

無効票 二四一  
△町長選挙 四、一八三 三上武男  
三、〇七五 大橋忠勝  
△町議会議員補欠選挙(一人) 当選 二、九三三 工藤源三郎  
一、八九〇 小山内嘉一郎  
一、四七〇 葛西繁則

地改良事業所小田川支所長小野昭栄(津軽土地改良事業所小田川支所主任)▽青森中央高校校長新岡精弥(金木高校校長)▽金木高校長村上義美(大湊高校教頭)▽嘉瀬小学校校長佐々木広志(小泊小学校長)▽青森食糧事務所北津軽支所金木出張所長平山美都雄(青森食糧事務所南津軽支所平賀出張所長補佐)▽青森食糧事務所北津軽支所調査係長清野又一(青森食糧事務所北津軽支所金木出張所長)▽青森銀行新町支店次長)▽青森銀行野辺地支店長小山内雅昭(青森銀行金木支店長)△退職 神正(嘉瀬小学校長)

### 共済組合が合併

四月一日から

金木町農業共済組合(秋元正衛組合長、組合員数一、三三七人)と喜良市農業共済組合(伊凡岡政美組合長、組合員数三四四人)は四月一日付で合併することになりました。事務所は金木町農業共済組合の事務所を使用します。

### 故野宮平助氏に 勲六等瑞宝章

先に死去されました金木町米町の野宮平助氏に、このほど従六位勲六等瑞宝章が与えられました。故野宮氏は金木町議会議長などを勤め、地方自治発展につくした功績によりこの度の受章となったものです。

# 目標にあと一步

## 米の減反申し込み

米の生産をこのまま続けてゆくと、米があまってどうしようもなくなる、ということの実施された米の生産調整。

金木町では、米の減産政策には不満ではあるが、食糧管理制度を守るため、やむを得ないということ、目標消化に協力することに

なり、各地区ごとに懇談会(説明会)を開き、減産の趣旨の徹底をはかり、農家に協力をお願いしました。

減産(反)は、もちろん強制的なものではないので、希望をとったところ、三月三十一日現在で、七百三十一人の農家から百八・六ヘクタールの減反の希望申込があり目標面積の百十四ヘクタールに

あと一步と近づきました。

減反の申込が比較的順調に進んでいるのは、奨励補助金があったより多く出ることや、減反に協力して食糧管理を守りたいと考えている農家が多いためと思われるからです。

減反の内訳をみると、休耕が九十パーセント、転作が十パーセントです。また、一人で四ヘクタールの休耕を希望した人もあり、耕作水田の全部を休耕する人も三十人近くありますが、ほとんどが十パーセント以下の減反となっています。

減反奨励補助金は、農業共済組合の基準反収に、キロ当り八十一円をかけた額が支給されますが、金木町の平均反収は四百八十四キロで、十アル当り平均支給額は三万九千二百四円となります。

### 米生産調整推進協議会を設置

町では、米の生産調整の趣旨の徹底をはかり、円滑な実施を期するため、金木町米生産調整推進協議会を設置しました。

委員の氏名は次のとおりです。

三上武男(町長) 原田一実(町議会議員) 大橋勇五郎(町議会副議長) 今久米雄(町議会農林商工常任委員長、農業委員長) 中村本真(固定資産評価員) 其田豊一(農業委員会会長代理) 古川哲雄(同)



【減反の受付風景】

### 児童扶養手当制度について

この制度は、父が死亡したり、父と生計を同じくしていない児童の世帯に手当を支給し児童福祉の増進を図ることを目的としたものです。

- ① 父母が離婚した児童
  - ② 父が死亡した児童
  - ③ 父が重い心身障害者である児童
  - ④ 父が引続いて一年以上扶養義務をつくしていない場合
  - ⑤ 父が一年以上刑務所等に入っている場合
  - ⑥ 父の生死が三年以上わからない児童
  - ⑦ 結婚によらないで生まれた児童
- なお、このような状態であっても、養育している人が一定額以上の所得がある場合は手当が受けられないこともあります。
- 支給される額は、一人の場合は月二千円、二人の場合は二千八百円、三人以上の場合は、二千八百円に三人目から四百円を加算した額です。(民生課)

### 農業簿記コンクールに入賞

青森県農業経営近代化協会(川村喜一会長)主催の第五回青森県農業簿記コンクールで嘉瀬車町の山中治雄さんが優良賞に選ばれました。山中さんは昨年も努力賞を受賞しています。

### 山火事を防ぐ

青森県の昭和四十四年度の山火事の発生は四十二件、九百七十八ヘクタール、損害額は約二億円にも達しています。

山火事発生の主な原因は、最近のレジャーブームによるハイキングや山菜、キノコがりのための入山者の増加に伴うタバコの投げすて、火入れ、たき火の不始末等入山者の不注意によるものが大半をしめています。

山火事防止を効果的に推進するため、県では「青森県山火事防止対策協議会」を設置し、つぎのことを行なうことになっていきます。

- ① 飛行機またはヘリコプターによる山火事防止宣伝
- ② 新聞、テレビ等による予防PR
- ③ 各種広報資料の作成
- ④ 広域消化体制の確立

⑤ 火入れ禁止期間の設定

近年農山村は出稼ぎ等のため人手不足となり、防災活動あるいは消火作業にも支障をきたし、その被害面積、額ともに年々増大の傾向にあります。

林野内で火気を取扱う場合は以上のことをじゅうぶんに認識し、後始末に念を入れて下さい。

(県林務課)

転出の場合は保険証などを持参して下さい

金木町から転出し、その届を出す場合は、国民年金手帳、国民健康保険証、ハンコを持参して下さい。よろしく願います。

### 狂犬病予防注射の実施について

左記の日程により犬の登録及び狂犬病予防注射を実施します。犬の飼主の方はハンコと登録、注射代五百六十円を持参のうえ予防注射を受けさせて下さい。

日程	区域	場所	時間
4月9日	金木	金木町役場前	10時～3時
4月10日	喜良市	喜良市支所前	10時～12時
	嘉瀬	嘉瀬支所前	1時～3時
4月13日	川倉	川倉児童館前	10時～11時
	藤枝	田中清一宅前	1時～1時30分
	神原	前田由雄宅前	1時45分～2時15分

# 国民年金

## 高齢者の任意加入の

### 再開について

明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生れた人で、昭和三十六年国民年金制度発足当時、加入しなかった人たちがその後制度の趣旨を理解し加入を希望する人が多くなりました。

これが反映され、今回給付額夫婦二万円年金実現を柱とする国民年金法の大幅改正を機会に加入を再開することが予定されていますが、その内容は次のとおりです。

一、加入できる人  
明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生れた人で、現に他の公的年金(厚生年金、船員保険、各種共済組合及び農林漁業団体職員共済組合)に加入していないり、他の制度から老齢(通算老齢)給付を受けることができ

る人を除きます。

二、加入の申出期間  
昭和四十五年一月五日から昭和四十五年六月末日まで。(この期間以後は受理いたしません)

三、保険料  
一カ月につき七五〇円。

四、保険料を納付する期間  
五カ年。(申し出をし、保険料納付済期間が五年に達したとき受給権が発生します。)

五、給付額  
月額二、五〇〇円(年額三〇、〇〇〇円)の老齢年金が支給されます。

なお、不審な点や疑問な点がありましたら役場町民課の国民年金係におたずね下さい。

## 新入学児童を 交通事故から 守りましょう

ことしもまた、県下で約二万六千五百人、金木町では二百八十五人の子どもたちが新しく入学します。このほか、金木町では保育所や幼稚園などに新しく入る子どもがおよそ三百人あります。

この子どもたちを交通事故から守るため、四月一日から二十五日間にわたり「新入学児童交通安全防止運動」が行なわれます。

この保護者はもちろん、町民ひとりひとりがお互い気をつけて、家庭から足を踏み出したこともたちのいのちを守りましょう。

①子どもを送り出すときは、つぎのことに気をつけて下さい。  
②少し早目に登校させる。  
③持ちものは、できるだけ少なくする。  
④出かけるときは、しっかりと、せきたてたりしない。



## 戸籍の窓口

1・2月届出分

- ④雨の日は黄色いカサ、黄色いレノコートで登校させる。
- ⑤朝の出かけに、車に気をつけるんだよ」と声をかける。
- おわびと訂正
- 前号の嘉瀬の奴師りが県文化財に指定された記事で、代表者山中熊四郎さんとあるのは、鎌田稲一さんの間違いでしたので、おわびして訂正します。
- 生まれた人
- ☆磯野香織 (義美長女) 昭和町
- ☆田中こすえ (一彦長女) 神原
- ☆前田尚彦 (昭治2男) 神原
- ☆秋元寿子 (登 長女) 川倉
- ☆野元龍子 (一 長女) 昭和町
- ☆角田彰彦 (金男長男) 昭和町
- ☆新岡由佳子 (拓司2女) 芦野町
- ☆斎藤和明 (千万次郎2男) 昭和町
- ☆石戸谷博昭 (良治長男) 神原
- ☆石戸谷美千子 (文雄長女) 神原
- ☆川口 勉 (清松2男) 小川町
- ☆福長裕香 (正春長女) 山道町
- ☆太山賢次 (信義長男) 若松町
- ☆角田博隆 (誠一長男) 川端町
- ☆成田晴美 (義晴長女) 旭ヶ丘団地
- ☆白川雄斉 (徳政3男) 川倉
- ☆田中華寿子 (豊忠長女) 神明町
- ☆白川光敏 (健道長男) 沢部
- ☆泉谷かおり (勉 2女) 川倉
- ☆小山内律子 (治美2女) 藤枝
- ☆徳田百皇 (信一2女) 川端町
- ☆白川貴治 (国治2男) 沢部
- ☆菊地一文 (謙 長男) 栄町
- ☆富士真悟 (四千雄2男) 田町
- ☆神 和明 (昭之助4男) 山道町
- ☆小寺真一 (謙一長男) 若松町
- ☆白川聰賢 (浩治長男) 旭ヶ丘団地
- ☆泉谷 剛 (哲夫長男) 川倉
- ☆秋田谷裕幸 (勝美長男) 芦野団地
- ☆斎藤美矢子 (光昭長女) 三軒町
- ☆松川ひとみ (武美長女) 上小栗崎
- ☆江良淳一 (宇逸長女) 車町
- ☆土岐康子 (安春3女) 畑中
- ☆中村 勇 (政徳長男) 東町
- ☆岩村寿弘 (久美2男) 下昭和町
- ☆山中富七子 (良治長女) 下昭和町
- ☆油谷由美子 (忠造長女) 下新町
- ☆角田恵子 (千代治長女) 下昭和町
- ☆塚塚 仁 (利男2男) 冷水
- ☆鳴海考幸 (忠実長男) 下派立
- ☆今三可子 (喜代昭2女) 上新町
- ☆山中鏡子 (武造4女) 上古町
- ☆毛内教夫 (英雄長男) 上古町
- ☆中野巻子 (正徳長女) 上派立
- ☆沢田光春 (光男長男) 中柏木
- ☆近藤友美子 (正治2女) 冷水
- ☆古川嘉彦 (宏明長男) 西岩見町
- ☆加藤めぐみ (勇 長女) 林町
- ☆加藤みゆき (勇 2女) 林町
- ☆死んだ人
- ☆須崎由次郎 (七六) 下鍛冶町
- ☆藤元 ち江 (六八) 上派立
- ☆田中千鶴子 (五一) 神田
- ☆沢田清吉 (七七) 寺町
- ☆野宮平助 (七七) 米町
- ☆宮越三九郎 (六八) 美晴町
- ☆長内良太郎 (七五) 寺町
- ☆木下熊一 (七六) 下派立
- ☆小松ナヂ (七七) 上派立
- ☆沢田たよ (八〇) 新富町
- ☆山形たき (七八) 栄町
- ☆川口豊三郎 (七〇) 新富町
- ☆白川ミ子 (七一) 沢部
- ☆津島英治 (六九) 朝日町
- ☆外崎善太郎 (六八) 三軒町
- ☆菊地甚松 (六九) 東岩見町
- ☆今 スエ (五七) 下町